



謹んで 新年のお喜びを申し上げます

年頭にあたり、組合員のみなさま並びにご家族のみなさまのご多幸を、心よりお祈り申し上げます。
また、お取引先や関係諸団体のみなさまには、日ごろよりコープながのの事業・活動に、ご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げますとともに、本年が飛躍の一年となりますようお祈り申し上げます。

昨年、「台風災害からの復興に取り組む一年」との思いで新年を迎えましたが、世界規模で感染が拡大した新型コロナウイルス感染症への対応を余儀なくされた一年となりました。海外ではワクチンの接種が始まりましたが、ウイルスの変異型が発見されるなど、未だにわたしたちの暮らしに大きな影響を与え続けています。

そうした中で取り組んだ「新型コロナウイルスに負けない！緊急応援募金」には、多くの組合員のみなさまに賛同をいただきました。また、計画していた諏訪センターの新築移転、上田古里事業所の新設を予定どおり実施し、春には施工中の伊北センターの移転新築工事が完了する予定です。みなさまのご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

様々な制約の中でのくらはしは「菓ごもり需要」と言われる現象を生みました。宅配事業では想定を超える利用の集中により、多くの欠品を生じさせることとなり、組合員のみなさまには、大変なご迷惑をお掛けいたしました。また、人と人とのふれあいを大切にしたコープのさまざまな取り組みも、安全を優先し多くの企画が中止せざるを得ない状況となりました。同様の事態が再び起こりうることを想定し、商品を一品でも多くお届けできるよう準備をすすめるとともに、WEBなども活用した“人と人のつながり”が実感できる新たな取り組みを試行錯誤しながらもすすめてまいります。

SDGs(持続可能な開発目標)の目標年度まで残り9年となりました。この9年間で世界は大きく変革しなければなりません。残された時間はそう多くはないのです。

「核兵器禁止条約」が3年余をかけ、今年1月に発効します。自国中心主義が台頭し混沌とする世界にあって、「核のない平和な世界」の実現に向けてようやく芽生えた“平和の芽”です。この“持続可能な社会”に不可欠な“平和の芽”を、しっかりとした大樹に育てなくてはなりません。

コープながのは、引き続き、持続可能な社会の実現と「頼られる生協」を目指して、くらしと地域の課題に向き合って参ります。

本年も、みなさまの変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年 元旦 理事長 太田栄一

